

# 消毒液の作製方法

## 作り方

市販されている塩素系漂白剤を薄めます。

商品名（例）

・ハイター ・ブリーチ ・ジアノック

これらの漂白剤には消毒成分である次亜塩素酸ナトリウムが約5%含まれており、そのままと濃いため、水で薄めて使用する必要があります。

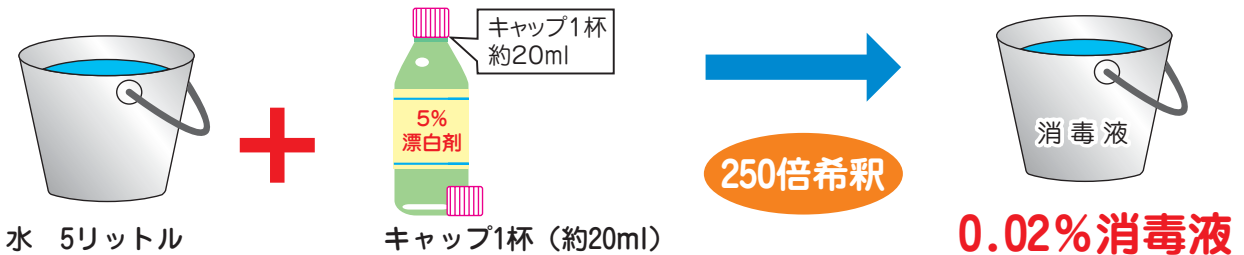
漂白剤は色々な種類のものが市販されていますので、濃度を確認してから使用しましょう。

よく読んでから…



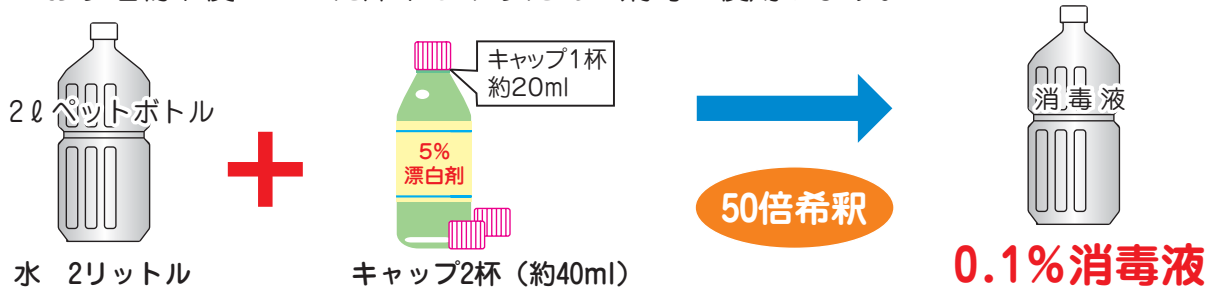
## 通常消毒用

- 調理器具、おもちゃ、ドアノブ、蛇口、手すり、お風呂などの消毒に使用します。
- 長期保存はできません。



## 汚染された場所の消毒用

- おう吐物や便のついた床やじゅうたんの消毒に使用します。



## 注意点

- 商品に記載されている「使用上の注意」をよく読んでから使いましょう。
- 金属を腐食させますので、金属製品への使用後は必ず水で洗い流すか拭き取りましょう。
- 漂白作用がありますので、色落ちが気になる布製品等には使用しないでください。
- 手や皮膚に付くと危険ですので、使用の際は手袋等を使用しましょう。

# おう吐物の処理方法

## 準備するもの

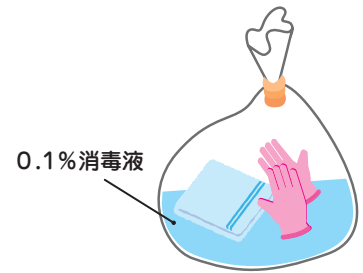
- ・使い捨てタオル等
- ・使い捨て手袋
- ・ビニール袋
- ・消毒液
- ・エプロン
- ・マスク



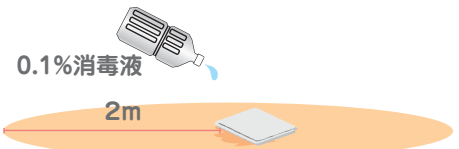
## 処理手順

- ①手袋、エプロン、マスク等の準備ができれば、換気のために窓を開けます。
- ②おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取ります。
  - このとき、汚れた面でこすると汚染が広がるので、拭き取る際は常に新しい面を使用しましょう。

- ③使用したペーパータオルや手袋等をビニール袋に入れて袋の口をしっかりと縛ります。
  - 袋には消毒液（0.1%）をペーパータオル等が浸るくらい入れておきましょう。



- ④汚れた場所をペーパータオル等で覆い、その上から十分に消毒液（0.1%）をかけます。
  - おう吐物は広範に飛散します。できる限り中心から2mくらいまで消毒しましょう。
  - カーペット等は色落ちしてしまうことがあります。



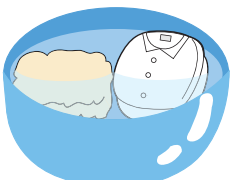
- ⑤10分後、水拭きします。

- ⑥汚物が入った袋、使い捨て手袋、使い捨てエプロン等をビニール袋に入れ、袋の口をしっかりと縛り、廃棄します。

- ⑦処理が終わったら、丁寧に手を洗い、うがいをしましょう。



## 汚染した衣類や布団などの処理



シーツや洋服に汚物がついた場合、消毒液（0.02%）で30分間消毒した後で洗濯しましょう。

布団などすぐに洗濯できないものは、汚染した部分にぬれタオルをあて、スチームアイロンで85℃1分間以上加熱すると良いでしょう。

